

202X年 若穂の振興と観光

若穂住民自治協議会 会長 綿内剛美

善光寺を参拝した東京からの若穂行観光バスは、美しい吊り橋型4車線の**新落合橋**を右折し、**千曲川右岸完成堤防7m中道路**を南に走り、予定時刻通りに**川田宿**に到着。江戸時代そのままの本陣西沢家表門・旅籠和泉屋の看板や高札場を見学した後、すぐお隣の**川田鉄道記念公園**へ。ここは平成24年3月に惜しまれながら廃線となった旧屋代線川田駅跡地で、現在はレトロな電車が何台も配置され、中には鉄道関係グッズが所せましと展示されており、多くのマニアで連日満員御礼です。

次に観光バスは、安全対策が施された保科の幹線道路**長菅線**へ出、天平14年(742年)に僧行基が建てた名刹大寺**清水寺**へ。大正大火で多くが灰ジンにきしたが、坂上田村麻呂将軍が納めた鍬形、空海筆の曼荼羅等9点もの重要文化財を擁し多くの参拝者が詣でます。

さてさて若穂観光ツアーも半ばまで進んだところで、湯量豊かな**保科温泉**で湯船につかり、地元産イノシシ・鹿のジビエ料理に舌鼓。今や**若穂ジビエ**は日本のブランド品となり大人気です。

一息後は、**若穂重文御仏スカイライン**を抜けて綿内へ。この峰続きに一周する天空の道路では、善光寺平を一望に納め、近くに北信五岳、遠くに北アルプス連峰、北は越後の山々が続き、千曲の流れが霞の中に消えていく眺望が堪能できるのです。

絶景を惜しみつつバスはリンゴ畑の中を下り、天平9年に建立、千三百年の歴史を誇る古刹**蓮台寺**へ。「くんぶつつあん」と親しまれている1体の重文を含む9体の大きな仏像は参拝者を圧倒、古式蒼然たる寺一帯は荘厳の佇まいを感じさせます。

続いて一行は、体力作りに励む人たちで賑わう**千曲川新道**を横切り、旧綿内駅跡地である**綿内多目的広場**へ。ここには様々な活動拠点となる**綿内総合会館**が建てられ、その一角に入った**若穂資料館**には、若穂の数々の遺跡や古墳群から出土した埋蔵文化財が展示され、更には民俗資料、古文書等も備えられ「若穂のものは若穂に」という住民の長年の願いが叶った場所となっています。

若穂の数々の場所を視察した観光客は、安全拡幅工事が完了し昭和の面影を取り戻した**R403 綿内大通り**の散策を楽しみ、帰路、**若穂道の駅**に立ち寄って、お土産にレンコン・リンゴ・桃・ブドウなどの特産物、またアンバタどら焼き・おやき等の名物を買って求め、再び訪問することを誓いながら**若穂スマートインター**からの帰途につくのです。

○ 私たちの愛する郷土「若穂」の近未来の姿を夢見てみました。まだ未実現の事案も多いのですが、「若穂はひとつ」、みんなで力を合わせての何年か後の実現を確信しつつ、思い巡らすことも楽しいものです。

落合橋架替建設期成同盟会設立！！

2月2日(金)若穂支所において、落合橋の架け替え建設早期実現をめざして、多数の関係者の出席のもと落合橋架替建設期成同盟会が設立されました。

当日は大豆島・更北・若穂地区の代表区長、来賓として国会議員(代理)、県会議員、市会議員、長野建設事務所長等を迎え、規約、本年度の事業計画・予算、要望書が承認され、会長に加藤久雄長野市長が選出されました。加藤会長からは竹内長野県建設事務所長へ県知事あて要望書が手交され、落合橋の早期架け替え建設に大きな一歩を踏み出しました。



若穂地区おしゃべりサロン交流会を開催

日頃、各地区で地域の皆さんにおしゃべりサロンを通じて楽しい交流の場を提供して頂いている代表の方たちの交流会を2月9日に行いました。本年度はより密な情報交換をしていただきたいと思います、グループワーク形式を導入しました。初めての取り組みに皆さん少し不安と緊張の様子が伺えましたが、始まってしまえば、和やかな雰囲気の中で真剣な表情で情報交換を行っていました。グループワークの他にも若穂のたくさんの活動団体を代表として芦ノ町区に発表をしていただいたり、福祉保健部会の皆さんによるサザエさん体操の体験等をしてみたりと、内容が盛り沢山であったという間の2時間でした。ご参加いただいた方々、ありがとうございました。また来年度もよろしくお願い致します。



信州の食文化は信州人の食生活のベース

郷土料理研究家 横山タカ子さん熱弁

若穂住自協の恒例事業となった新春健康講演会は福祉保健部会の企画により2月10日(土)に若穂支所にて開催されました。講師、料理研究家横山タカ子さんの料理実践の経験に裏付けされたお話は会場に集まった約250名に及ぶ参加者の胸に数多く刻まれた模様でした。特に発酵食品(味噌・醤油・漬物等)は信州人の長寿の原点であり、食生活の中で大切に守ってほしいとお話しされました。



通学定期券購入費補助のお知らせ

若穂地区在住で「屋代須坂線」、「綿内屋島線」「大豆島保科温泉線」を利用して通学する児童・生徒の通学定期券購入費の補助を実施しています。対象者は小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、高等専門学校(1学年から3学年)等に通学するために通学定期券を購入する保護者です。

今回は平成29年10月1日～平成30年3月31日の購入分が補助対象です。

申請書は事務局で受領するか住民自治協のホームページからダウンロードしてください。

申請期間は4月2日(月)～4月27日(金) (土)(日)祝日を除く

受付時間：午前9時30分～午後5時

不明な点は、事務局 (電話) 050-3583-5700までお問合せ願います。

平成29年度人権同和教育標語作品を紹介します

【川田小学校】

- | | | | | |
|-------------------------|----|----|-----|----|
| ◎ ぐうばんち おなかにあると いたいよね | 1年 | 常田 | 理翔 | さん |
| ◎ 友だちと なかよくあそんで またあそぼ | 2年 | 伊藤 | 里桜 | さん |
| ◎ 「遊ぼうよ。」 きずなを深める あいことば | 3年 | 小林 | 葉 | さん |
| ◎ 気づいてね あなたもいじめ やっていない? | 4年 | 伊藤 | みなみ | さん |
| ◎ 一人だね ぼくとあそぼう なにするか | 5年 | 近藤 | 木ノ葉 | さん |
| ◎ 字はけせる 心の傷は けせないよ | 6年 | 山田 | 楓華 | さん |

問合せ 若穂地区住民自治協議会(若穂支所内) ☎ 050-3583-5700
若穂有線 2062 e-mail wakaho.j@grn.janis.or.jp